



著者プロフィール

浅川芳直（あさかわ・よしなお）

平成四年 宮城県名取市生まれ（本籍 宮城県角田市）
平成十年 「駒草」入門
平成二十九年 「むじな」創刊（発行人）
令和二年 第八回俳句四季新人賞
令和三年 令和三年度宮城県芸術選奨新人賞
令和四年 第六回芝不器男俳句新人賞対馬康子奨励賞
令和五年 「駒草」同人

宮城県俳句協会常任幹事

河北TBCカルチャーセンター講師

宮城刑務所俳句クラブ講師

宮城刑務所文芸誌「あをば」俳句選者

「河北新報」朝刊コラム「秀句の泉」水曜、土曜執筆者

分担執筆

現代俳句協会青年部（編）『新興俳句アンソロジー 何が新しかったのか』ふらんす堂、2018年（「齋藤玄」）

高野ムツオ、西澤美仁、花部英雄（編）『教科書に出てくる歌人・俳人事典』丸善出版、2022年（「加賀千代女」「中村草田男」）

日本近代文学館（編）『日本近代文学大事典』増補改訂デジタル版、講談社、2023年（「山口青邨」増補分）

〈句集『夜景の奥』（やけいのおく）より転載〉

〈2023年12月2日時点〉

『夜景の奥』（自選15句）

浅川 芳直

光りつつ飛雪は額に消えにけり
あかるくてからつばしぼり器のレモン
少年の葱を一本さすリュック
雪となる夜景の奥の雪の山
耕や蟬幼虫の死を抛り
電灯のひそかな異音さくらの夜
茄子の馬夜のカーテンふつと揺れ
雪飛ばす山を彼方に鳩の首
星降るや山に漲る星の息
初雪のこぼれる夜の広さかな
人白くほたるの森へ溶けきれず
新幹線無月の山へなだれこむ
夕方につつまれてゆく磯遊び
夕立や昂然としてパインの木
起伏なす暮しの灯り初日の出